

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。

2020
01
2019年12月 第220号



ゴスペルソングの歌集に子どもたちの曲が掲載されました!(カンボジア孤児院)

皆さまの尊い御支援、御協力、いつもありがとうございます。

先日、皆さまの御支援によって、フィリピンの土地の税金を支払う目途がたちました。本当にありがとうございました。海外の事業では予期せぬ色々なことがゆるさされますが、とにかく皆さまのお蔭で乗り切ることができております。本当に感謝致します。

さて、早いもので、2019年が終り、2020年になります。

2020年は東京オリンピックの年で、既に色々な賑わいが始まっています。

しかし、その賑わいとは裏腹に、子ども達を巻き込んだ様々な事件や問題が多くなってきています。

2020年は子ども達にとって良い年となることを願っています。

また私共の孤児院の働きと子ども達の上に、さらに大きな発展がはるようにも願うばかりです。どうぞ2020年もまた、皆さまの御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

11月、日本のNPO団体の方々が、ご支援の品々を持って訪問してくださいました。

毎年、子ども達の成長の様子を喜んでくださり、今回、折にかなった助けを頂き、とても感謝しています。

11月中旬、毎年、梅雨明け時に行われる水祭りに行ってきました。

出店も沢山出てまして、子ども達は1人1人お小遣いをもらって、自分の好きなものを選んで食べたり、ポートルースを実際に見たり、心配していた危険からも守られて楽しんで帰って来ることが出来ました。

さらに孤児たちを受入れる為の体制として、子ども達をお世話するケアスタッフを増員する必要もありますので、続けて皆様のご支援を頂ければ幸いです。

2019年も、皆様のご支援とご協力を、本当にありがとうございました。

2020年の新しい年も、皆様の上に神様の祝福が豊かにありますように、お祈り申し上げます。



最終日に出席した大学生達と中高生達のグループ。(写真手前)

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンの子どもたちに対する皆様の暖かいご支援を心から感謝致します。皆様のご支援により、今年度の学費も無事に満たされ、タクナンの土地に関しても所有権取得に向けて動き出せるようになりました。心から感謝致します。教育省の決定により、今年度は小学校から高校まで、クリスマス休みが例年よりも早めになり、子どもたちは大喜びしています。今年度は学校カリキュラムの教科が増え、それに加えていろいろな発表会(パフォーマンステスト)もあり、子どもたちは大忙しでした。学校から帰る時間が遅くなることや、費用がかかることで保護者の中からは不満も出ていましたが、全て子どもたちの将来に役立つことだと考えています。12月13日と18日に学校のクリスマスパーティーが行われ、12月19日～1月5日までお休みになります。費用が集まれば、12月30日に就学支援生全員が集まる「年末感謝パーティー」をしたいと思っています。このためにも皆様のご支援を頂ければ幸いです。2020年も引き続きフィリピンの子どもたちに対する、皆様のご支援をよろしく願いいたします。



学校のクリスマスパーティーの様子(マハヤハイ)

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムシャリーニ(お元気ですか)?ザンビアはようやく雨が与えられて、涼しく過ごやすくなりました。15時間の停電も、昨日から緩和され(といっても、またいつ始まるか分からないのですが)、これから改善されるのではと期待しています。新しく始めたHIVの孤児たちの毎日学校(就学支援)の始業2時間前にはやって来て、待ってるのです。その愛らしい笑顔が、本当に原動力になっています。ひとりの女の子は12才にして、初めて学校に通う子で、少し緊張が見られますが、一生懸命理解しようとする姿、応援したいです。

今後は土地の取得と、学校建設が目標になっていきますが、その前に小さなステップを踏もうと考えています。それは制服を着用する事。ザンビアは基本、小学校から制服がありますし、制服を着ることによって、子どもたちの気持ちに区切りと生活へのメリハリができるようになります。また、幼少期のアイデンティティー形成の中で、自分が所属する学校に、誇りを感じて欲しいと願っています。制服代は、25人分で40000円程になります。こちら、運営費と合わせてご支援をお願い致します!



授業風景

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。この頃やっと待ちに待った雨期が到来して、毎日涼しくなりました。あの38度の日々が嘘のようです。先日はいつもよく行くバスターミナルで、バス会社の社員さんに「この近くで働いていますか?」と声をかけられました。その声に聞き覚えがあり、「日本から来て、保護の必要な子供たちの働きのためにブラジルに来ています。もしかして、いつもアナウンスされる方ですか?」と言ったら、アナウンスの方でした。よく会う方なので、また何かの機会があればと思っています。また、以前近所の方が紹介して下さった日系ブラジル人の女性で、日本にも住まれたことのある方と、バスターミナルでばったり会いました。日本が大好きな方で、とても親しくしていただいています。さらに礎の石孤児院の働きに協力して下さる方を募っていきますようお願いしています。皆様のご支援をこれからもよろしくお願い致します。



親しくしていただいているRさんと松本スタッフ